
Dの取り沙汰

工藤 伝

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Dの取り沙汰

【Nコード】

N0913Z

【作者名】

工藤 伝

【あらすじ】

父の研究に知らず巻き込まれ、『ドラゴン』の秘密を握る少年ニド。息子の安寧のため、父が派遣した護衛は何故か新米ナビゲーターの少女ドリスだった。

1 (前書き)

一日一枚くらいずつ。

ドラゴンタワー。最先端のバイオテクノロジーを駆使して、人工生命体、通称『ドラゴン』を開発、発表し目下世界の注目を浴びる研究所の名称である。

その最上階の一室、

「許せませんよね、所長。我らの努力の結晶をよりにもよって戦争なんかに利用しようとするなんて！」

縁のある眼鏡をかけた白衣姿の青年が声を荒立てる。すると、もう一方の男――所長と呼ばれた男、こちらは新聞など読みながら

が呑気な声で応えた。

「……ああ、まったくだな……」

相変わらず新聞に目を通したままなのだが、縁眼鏡の青年はかまわず続ける。

「確かに『ドラゴン』はその能力、性能、ほとんど文句無しに完璧だと思いますよ。戦争においてだって命令プログラムさえ造れば大いに活躍できるでしょう」

「……そうだなあ……」

「ええ。で・す・が！我々はそのような目的のために『ドラゴン』を創り出したわけではありません……」

突然、縁眼鏡の青年の言葉がとぎれる。もう一人の男が新聞を伏せ、顔を上げるのを待ってから、

「聞いておられるんですか？クラントウッド所長」

疑わしげに訪ねる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0913z/>

Dの取り沙汰

2011年12月3日15時56分発行